

夢の設計図

やりたい仕事や実現したい夢 しごと じっげん ゆめ その仕事や夢を選んだ理由 しごと ゆめ えら 理由

小説家 小説家 本を読んだり書いたりするのが好きだから。
その仕事や夢を実現するために必要な条件(資格など)や力、お金はなんだろう
文章能力。 文章能力 本を書くのに必要な機材。
アイデアや独自性。多方面から見る力。

年齢	必要な能力を身につけるためにやること	費用
12歳	文章能力を身に付ける。 小説を書く。受験勉強。	学費、本代
13歳	文系の授業に力を入れる。小説を書く。	学費
15歳	小説コンクールに応募。受験勉強。	本代
16歳	小説を書く。小説コンクールに応募。	学費
18歳	受験勉強。書店でアルバイト。	本代
19歳	小説サイトにとりこむ。司書の資格について勉強。アルバイト。	学費
23歳	司書の資格を取得。	本代
24歳	書店と出版社に勤める。本を出版。	機材代
25歳		本代
26歳		
27歳		
28歳	茶川賞受賞	

仕事以外であなたが大人になったらやってみたいこと、実現したいこと
海外の図書館めぐり。
書道系の資格を取得したい。

本が「好き」だから書く

相模女子大学小学部 六年 一戸 紗代

私は、幼い頃から本を読むのが好きだ。現実では難しい事も、本の中でなら体験できる。個性豊かな主人公と共に、様々な事が出来る本が好きだ。書店に行くのが趣味の一つで、その空間に居るだけで有意義な時間になる。また、本を読み終えてしまった時の何とも言えない哀しみと、それよりも遥かに大きい達成感を感じることが出来るのも良い。落ち込んでいる時でも、本を開くとページをめくる手が止まらなくなる。それを書く小説家の方は、本当にすごいと思う。

いつからか、「本が大好き。もっと読みたい。」という夢に変わっていた。そして、小説家として物語を書くプロになるう、と決心した。

私には、「理想の小説家像」がある。それは、「読者に本が楽しいと思ってもらえる物語を書ける人」だ。本の主人公が体験した喜怒哀楽を、読者も体験でき

るような小説を書きたい、そして、本は面白いな、と思ってもらいたい。だから「理想の小説家像」に一步でも近付くため、必要な要素を考えてみた。主に三つあると思う。

一つ目は、文章を書く技術と語彙力。これは小説家になる為には一番大切だと思う。それらを身に付ける為に、普段から文章を書くのを頑張ろう。そして、様々な作家さんの作品を読んで学ぼう。世界の文豪の名作を読もう。技術があれば、小説を書くのがさらに楽しくなるはずだ。二つ目は、発想力と独自性。小説は、今までに無かった作品が求められる。普段からアイデアを思い付いた時は、メモに書き留めるなどして、五感を思う存分活かそう。そして、想像力を働かせて、自分のオリジナルを追求し続けようと思う。

最後の三つ目は、どんなに辛くても努力し続けること。これは、何事においても大切な事だ。努力せずに書いた作品は、何も面白くないし、努力して書いたからこそ、奥の深い物語になるはずだ。もちろん、自分自身の力ではどうにもできない事もあるけれど、まずは何事もやるだけやってみようと思う。

思うように行かず、苦しくなってしまう時もあるだろう。それに、必ずしも自分の書く小説が多くの人に読んでもらえるとは限らない。でも、小説を書く為に身に付けた「力」が、きつと役に立ったと思える日がいつか来るはずだ。もし辛くなったら、自分が過去に物語で得た「喜び」や「悲しみ」も、力にしていけたら良いと思う。「好き」で始めた事だから、小説を書くことを心から楽しんでいきたい。今度は私が、読者に喜怒哀楽を届ける番だ。

*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。